

ユーリー・テミルカーノフ 指揮 サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー 交響楽団

St. Petersburg Philharmonic Orchestra

第29回 名古屋クラシックフェスティバル

*29th
Nagoya
Classic Festival
2011*



名匠テミルカーノフが聴かせる、
これぞロシア音楽の極み!

チャイコフスキー／交響曲 第5番

プロコフィエフ／バレエ組曲

「ロミオとジュリエット」より
(テミルカーノフ版)



2011
11.3 (木・祝)
PM 2:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥ 18,000 A ¥ 14,000 B ¥ 11,000
C ¥ 9,000 D ¥ 7,000 学生 ¥ 3,000 (税込)

お問合せ お申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333**

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月～金 AM9:30～PM5:30 / 土・日・祝日休業)

インターネットからでもお申込み頂けます。 <http://cte.jp> **中京テレビ事業**

チケット販売所

チケットぴあ (Pコード 133-133)	0570-02-9999	栄プレチケ92	052-953-0777
愛知芸術文化センタープレイガイド	052-972-0430	中日サービスセンター(中日ビル1F)	052-263-7282
ローソンチケット (Lコード 41050)	0570-084-004	イープラス	eplus.jp 他

学生券

ご希望の方は往復八ガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復八ガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

●曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。主催 / 中京テレビ放送
●未就学児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

5/28(土)AM10:00～発売開始!

ユーリー・テミルカーノフ (芸術監督・首席指揮者)

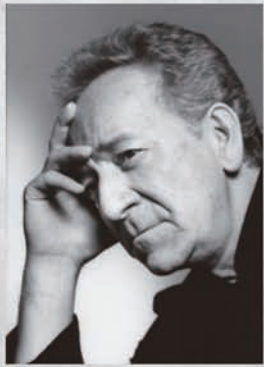
Yuri Temirkanov (Artistic Director and Chief Conductor)

1938年12月10日、コーカサス地方のナールチク生まれ。ナールチク音楽学校でヴァイオリンを学んだ後、1951年にレニングラードに移住。1953年から1957年までレニングラードの特別音楽学校でヴァイオリンを、レニングラード音楽院ではヴィオラを専攻し、1962年に卒業。あらためて指揮科に入り直し、イリヤ・ムシンに師事した。28歳の時にモスクワで開催された第2回全ソ指揮者コンクールに参加し優勝。この優勝によって、コンドラシ、D.オイストラフとともにモスクワ・フィルのアメリカ・ツアーへの同行が実現することとなった。1966年から1972年にはレニングラード・マールイ・オペラ&バレエ劇場で活躍し、「椿姫」「愛の妙薬」「ボーギーとベス」等を指揮。1968年からレニングラード響(現サンクトペテルブルグ響)の首席指揮者・音楽監督、1976年から1988年にかけてキーロフ・オペラ(現マリインスキー・オペラ)の首席指揮者及び芸術監督を務め、1982年の「エフゲニー・オネーギン」、1984年の「スペードの女王」は自ら演出も手掛けた。

1978年にはロイヤル・フィルを指揮してロンドン・デビュー。後にこの楽団の首席客演指揮者、首席指揮者を歴任し、1998年には名誉指揮者の称号が与えられている。1988年4月、ムラヴィンスキーの逝去後、楽団員の選挙によってサンクトペテルブルグ・フィル(旧レニングラード・フィル)の音楽監督・首席指揮者に選出され、現在に至っている。この間、1992~97年にはドレスデン・フィルの客演常任指揮者を務め、1998/99年シーズンからデンマーク王立管の首席客演指揮者に就任。また1999/2000年シーズンからはアメリカのボルティモア響の首席指揮者・音楽監督に就任している。その他ヨーロッパでは、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ドレスデン国立歌劇場管、ロンドン・フィル、ロンドン響、ヴェルビエ音楽祭オーケ、サンタチェチリア国立アカデミー管等の一流オーケストラに客演する一方、アメリカでもフィラデルフィア管、ボストン響、ロスアンジェルス・フィル、ニューヨーク・フィル、クリーヴランド管、シカゴ響、サンフランシスコ響等の演奏会にも登場。特に1986年には米ソ文化交流協定再開後、アメリカを訪れた初めてのソ連の指揮者としてニューヨーク・フィルを指揮し、批評家達に絶賛されている。

また、フィラデルフィアのカーティス音楽院やニューヨークのマンハッタン音楽学校、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院で定期的にマスター・クラスを開き、1999年の12月からはサンクトペテルブルグで「芸術広場」音楽祭(インターナショナル・ウィンター・フェスティヴァル・アート・スクウェア)を毎年開催している。

ロシアの名匠、テミルカーノフが率いる世界有数のオーケストラ。1882年創立、旧ソ連時代からレニングラード・フィルとして巨匠ムラヴィンスキーのもと、世界各国で名声をとどろかせ、来日公演も多数行い長く日本のオーケストラファンに親しまれています。音楽監督の座を50余年にわたり務めたムラヴィンスキーから引き継いだのがテミルカーノフ。ベルリン、ウィーン、ニューヨーク・フィルをはじめ超一流オーケストラから常に引張りだこ、キーロフ・オペラの芸術監督(ゲルギエフの前任)も務めた超人気指揮者。その音楽に対する深い造詣と芸術性で第二の黄金期を迎えている組み合わせです。伝統のロシア音楽の粋をお楽しみください。



サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団

St. Petersburg Philharmonic Orchestra

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団は、旧ソ連で最も古い伝統のある交響楽団である。古くは1802年に設立された「フィルハーモニー協会」、さらには1882年に組織された「帝室管弦楽団」を前身としているが、20世紀初頭までは主に貴族階級のためのものであった。1917年、2月革命の後、国立フィルハーモニー管弦楽団と改称されてクーセヴィツキーが初代指揮者に迎えられた。サンクトペテルブルグからベトログラード、そしてレニングラードからまたサンクトペテルブルグへという都市名の変換に伴い、1991年には長年親しまれた「レニングラード・フィル」という名称より「サンクトペテルブルグ・フィル」と改名され、現在に至っている。初期の頃、グラスノフ、クーセヴィツキー、フィテルブルク、チェレブニンなど錚々たる顔ぶれが指揮し、また外国からはワルター、クレンペラー、E.クライバー、クナッパブツプッシュなどが客演指揮を行い、国際的な名声を確立していった。1938年からは約50年間にわたり、エフゲニー・ムラヴィンスキーが音楽監督を務めた。第2次大戦後は25カ国以上の国々でツアーを行い、ストコフスキー、ミュンシュ、マルケヴィッチ、コダーイ、プリテンなども指揮台に迎えている。サンクトペテルブルグ・フィルは海外でツアーを行った最初のソ連のオーケストラであり、そのツアーと数多いレコードによって、世界的な名声を得るようになった。1988年ムラヴィンスキーが死去した後、ユーリー・テミルカーノフが同オーケストラの音楽監督に就任した。名高いサンクトペテルブルグのフィルハーモニー・ホールでの定期演奏会のほか、ルツェルン、ザルツブルク、エディンバラ、BBCプロムスといった夏の主要音楽祭への定期的な出演、ドイツ、スイス、オーストリア、スペイン、英国、米国、南米、日本への大規模のツアーなど、世界中で成功を取っている。中でも、1998年に行った極東ツアーは大きな成功を取め、クアラルンプールに新設されたコンサート・ホール、デワン・フィルハーモニー・ペトロナスでは、オーケストラとして初めての演奏を行った。また、1999年6月ロンドン、2002年にはザルツブルクとウィーンに、サンクトペテルブルグ祭のスペシャル・レジデントとして滞在し、高く評価された。さらに、2002年6月ロンドンにて行ったロイヤル・ガラ公演では、ガーディアン紙から「世界で最も優れたオーケストラ」と評されるなど、大絶賛を博した。

テミルカーノフ指揮による録音はBMGクラシックスより、マリス・ヤンソンスとの共演による録音はEMIより、ウラディーミル・アッシュケナージとの録音はデッカよりそれぞれリリースされている

広告スペース